

～「源氏物語」初版千年～

日本の古典 連続講座

全5回

「この源氏の物語一の巻よりしてみな見せたまへと心のうちにいのる」(更級日記)
菅原孝標女は「源氏物語全巻を読みたい」と切に願った。それが叶ったのは彼女が14歳のとき、
紫式部が執筆してから13年たった寛仁5年(1021年)だった。それから千年のときが流れている。

第1回 2020.10/3 [土] 14:00～16:00 (開場 13:30)

「源氏物語」のおんなたち ～六条御息所、朧月夜、そして葵

【会場】OKB ふれあい会館 14階 展望レセプションルーム

【定員】24名

【講師】勝典子(日本古典文学研究)

「源氏物語」「平家物語」「万葉集」などの古典から近代文学まで、独自の切り口で「現代の語り部」といわれる第一人者が、「源氏物語初版千年」の「古典講座」の嚆矢としてお話しします。



第2回 2020.11/7 [土] 14:00～16:00 (開場 13:30)

能に見る「源氏物語」 ～レクチャーと装束付け

【会場】OKB ふれあい会館 14階 展望レセプションルーム

【定員】24名

【講師】玉井博祐(宝生流シテ方)

岐阜の誇る女性能楽師が、能に採り上げられた「源氏物語」を語り、能に登場する女性像に迫ります。さまざまな装束を紹介、ご希望の方には着付けも体験していただけるというまたとない講座です。



第3回 2020.12/13 [日] 14:00～16:00 (開場 13:30)

能楽の囃子 室町時代のオーケストラの響き ～レクチャーとワークショップ

【会場】サラマンカホール 【定員】30名

【講師】後藤嘉津幸(小鼓)、大野誠(笛)、
加藤洋輝(太鼓)、河村裕一郎(大鼓)

能の囃子である「四拍子(しびょうし)」～小鼓(こつづみ)、笛、大鼓(おおつづみ)、太鼓～の四つの楽器が勢ぞろいします。四つの楽器が繰り出す複雑なリズムは、時に現代的とも感じるときがあります。この独特な世界を体験してください。



第4回 2021.1/11 [月] 14:00～16:00 (開場 13:30)

能の所作と舞 ～レクチャーとワークショップ

【会場】サラマンカホール

【定員】30名

【講師】辰巳満次郎(宝生流シテ方)

重要無形文化財総合指定の認定を受けた能楽界の重鎮にして、能のあくなき改革者である辰巳満次郎師。その修練の積み重ねが垣間見える所作を間近で見、希望者には所作を体験していただきます。



第5回 2021.2/12 [金] 14:00～16:00 (開場 13:30)

雅楽へのいざない

【会場】サラマンカホール

【定員】30名

【講師】東野珠実(笙)

現存している世界最古オーケストラ、雅楽。日本古来の歌舞に、遠くはベトナム、近くは朝鮮から伝わった技芸が加わり、平安期の醸成を経て現代につづいています。楽器の紹介を通して雅楽の楽しさをどうぞ。



© 藤井秀樹

2021年開催のシリーズ「日本の古典」～「源氏物語」初版千年～は、「サラマンカ能 その式」(1月30日[土])、「雅楽～光源氏の歌舞ひ」(2月13日[土])と連続して開催される。

この二つのコンサートへのアプローチ、能と雅楽をめぐる講座とワークショップです。

受講料 全自由席 各500円

発売日 2020年9月3日[木]

※1/30 [土]「サラマンカ能 その式」、2/13 [土]「雅楽～光源氏の歌舞ひ」のチケットをお持ちでなくても受講できます。

※お好きな講座のみを選択し受講することができますので、お気軽にお申し込みください。

大きな反響を呼んだ能公演が再び!

I. サラマンカ能 その式

2021年1月30日[土] 開演 14:00

【出演】辰巳 満次郎、玉井 博祐、パイプオルガン: 鈴木優人
【プログラム】能「葵上」 ほか



※2018年「サラマンカ能」より

II. 雅楽～光源氏の歌舞ひ

2021年2月13日[土] 開演 14:00

【出演】笙: 東野 珠実、雅楽集団: 神々楽伎座
【プログラム】「御神楽」、「青海波」 ほか

9月3日[木]
発売

※コンサートの詳細はサラマンカホールホームページをご覧ください。

チケットのお求め|サラマンカホール チケットセンター
058-277-1110 [9:00～21:30]

サラマンカホール 検索
ネット予約は「サラマンカ・オンラインチケット」で

主催: サラマンカホール

SALAMANCA HALL